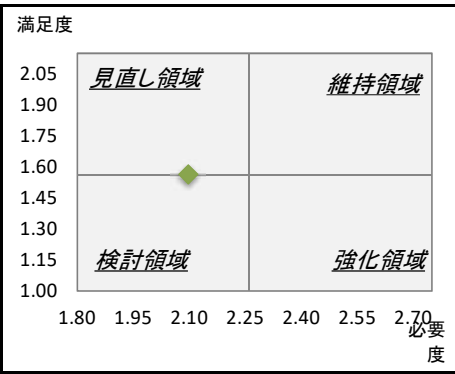


臼杵市 施策評価シート (令和元年度)			評価 担当者	課名 農林振興課 有機農業推進室	氏名 目原 康弘	内線 201				
コード	Ⅳ-11-23	施策名	「有機の里うすき」の実現							
施策の 方針	おいしく安全な食材を創り活かす									
まちづく りの 方針	魅力ある資源を市民が創り活かし、人が集まりにぎわうまち(産業・観光)									
施策の 目的	「ほんまもん農産物認証制度」による化学肥料や化学合成農薬を使わない農産物の推進や、本来の健全な田畑に戻していくために「うすき夢堆肥」による土づくりを行うなど、有機農業に取り組みやすい環境づくりを行うことで、有機農業が生産者と消費者の相互理解のうえで持続的に発展することを目的とします。									
施策の 内容	「うすき夢堆肥」による土づくりにより農業者が有機農業に取り組みやすい環境づくりや、「ほんまもん農産物認証制度」による有機農産物のブランド化を推進するとともに、安心安全な農産物の供給や有機農業の生産拡大を図ります。また、有機農業の新規就農者の拡大や学校給食への有機野菜の供給拡大を図ります。									
＜指標＞										
新規 指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移							
			目標	単位	H26	H27	H28	H29	H30	R1
学校給食での有機農産物使用割合	生鮮野菜の重量ベースでの有機農産物使用割合		目標	%		14.0	18.0	22.0	26.0	30.0
			実績		10.0	11.9	12.3	11.9	12.1	14.6
			達成率	%	－	85.0%	68.3%	54.1%	46.5%	48.7%
有機農産物利用店舗数	飲食店の有機農産物利用店舗数		目標	店		12	14	16	18	20
			実績		10	12	13	15	20	30
			達成率	%	－	100.0%	92.9%	93.8%	111.1%	150.0%
有機栽培農家数	累計数		目標	戸		39	42	45	48	80
			実績		32	36	40	44	54	62
			達成率	%	－	92.3%	95.2%	97.8%	112.5%	77.5%
有機栽培面積	累計面積		目標	ha		95.0	100.0	105.0	110.0	117.0
			実績		90.0	108.0	100.0	104.0	88.1	80.0
			達成率	%	－	113.7%	100.0%	99.0%	80.1%	68.4%
有機農産物を使った加工品数	累計数		目標	個		7	9	11	13	15
			実績		5	7	8	10	10	10
			達成率	%	－	100.0%	88.9%	90.9%	76.9%	66.7%
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
指標の分析		学校給食への供給については、順調に伸びているものの目標値の半分程度となっており、来年度以降取り組みの見直しを行っていく。また、有機栽培面積については、来年度から「ほんまもん農産物」認証制度の見直しに併せ、目標値を再検討していきたい。農家数及び加工品数についても伸び悩みが見られるため、取り組みを含めて再検討する必要がある。有機農産物利用店舗数については、イベントの実施や飲食店への農産物提供事業等により目標達成できていますが、地産地消の強化の観点から、目標の再設定を行い、利用店舗の増加を目指します。総合的には、担い手の育成が急務であると考えます。								
＜市民意識調査結果＞										
市民意識調査 結果 (R1調査)	領域名	必要度	満足度	満足度 						
	見直し領域	2.10	1.56							
	・令和元年度実施のアンケート結果では、「必要度」が低く、「満足度」が高い「見直し領域」に位置しており、目標達成の状況やサービスの供給量を検証する必要がある									
市民意識調査 結果分析	日本における有機農産物の需給は0.4～0.6%程度と低く、臼杵市においても食にこだわらない方には有機農業は関心の低いものとなりますが、有機農業に取り組む市の姿勢に共感した移住者が増加しています。また、食育についても子育て世代の方に有機農業の告知も含め積極的に事業展開しています。									
＜次年度以降の課題＞										
令和2年度以降 の課題	有機の里うすきの取り組みにおいて、担い手確保が優先的課題となりますが、付随して販路の構築が必要となります。販路において、安定的な供給先として、まず、学校給食が挙げられますが、限られた時間内での調理には、規格の統一、あるいは一次処理等を検討する必要があります。令和2年度においては、契約栽培による取り組みを試験的に導入し、安定的な供給体制及び企画の統一を図っていきます。また、担い手確保策については、地域おこし協力隊制度の活用に加え、ファーマーズスクール導入により、担い手育成を加速させていく必要があります。									

＜施策を構成する主な事務事業一覧表＞

事務事業名		事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費（単位：千円）			課長 評価	公共5カ 年	他の 関連施策 コード
					H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み			
1	土づくりセンター指定管理料	土づくりセンターの堆肥製造、販売等の指定管理を行います。	農林振興課有機農業推進室	○	30,761	30,761	30,761	重点継続	○	
2	ほんまもんの里うすき農業推進協議会補助金	環境保全型の推進、「ほんまもんの里うすき」ブランドの確立、地産地消を推進する協議会への補助金	農林振興課有機農業推進室	○	3,500	4,400	4,800	継続	○	
3	有機農業起業家誘致奨励金	有機JAS認証を取得する新規農業者への奨励を行います。	農林振興課有機農業推進室	○	1,000	1,000	3,000	継続	○	
4	環境保全型農業直接支払交付金	環境保全を行う有機農業者への交付を行います。	農林振興課有機農業推進室	○	2,486	2,888	3,600	継続	○	
5	ほんまもんの里農業推進センター指定管理料	ほんまもん農業の推進を目的としているセンターの指定管理料※平成29年度以降、利用目的再検討のため、管理委託としています。	農林振興課有機農業推進室		-	-	-	見直し	○	
6	農林公社運営支援事業補助金	農林公社を運営する上での必要経費支援補助を行います。 平成30年度から農業振興Grとしました。	農林振興課有機農業推進室		14,155	-	-	継続	○	
7										
8										
9										
10										
			合計		51,902	39,049	42,161			

＜施策の今後の展開 ～担当課長評価＞

進捗状況									課長評価
順調	「うすき夢堆肥」の安定供給による生産基盤の確保、担い手育成の強化、安定的な販路の構築等、現状の取り組みをさらに強化していく必要があります。担い手育成は、ファーマーズスクールの実施、販路構築においては、契約栽培の確立及び法人を中心とした共同販売体制の充実等の施策を図っていく必要があります。								重点施策であり、前期計画終了（2019年）までに強化する

＜施策の今後の展開 ～内部評価（内部検討会）＞

進捗状況									内部評価
－									－

＜臼杵市行財政活性化推進委員会による外部評価：最終＞

評価のコメント				外部評価	
				－	

＜臼杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組＞

--	--